

# 進捗・完了報告について

---



こどもの未来は日本の未来

# 事業実施ガイドブックの重要ページ

## 進捗状況の確認について

### ▶ P33

- ・ 事業の振り返りを行い、活動の進捗状況を教えてください
- ・ 確認時期は8～9月頃を予定しています

## 完了報告について

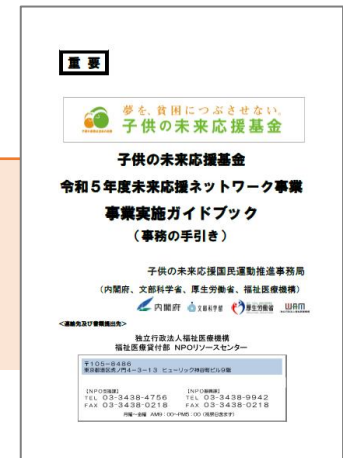
### ▶ P34～39

- ・ 支援金の精算と実績報告のためのお手続きです
- ・ 事業完了から1か月以内又は 令和6年4月末日のいずれか早い日までに行います

## 団体情報の変更について

### ▶ P40～41

- ・ 法人格・団体名・代表者・団体住所・連絡先（メールアドレス）などを変更する際は、変更届をご提出ください



# P33 進捗状況の確認

事業の振り返りを行い、活動の進捗状況を教えてください。

## 【確認時期】

8～9月頃（予定）


## 【確認項目】

- ・ 事業計画の変更の有無
- ・ 実施体制の状況
- ・ 経費執行率
- ・ 事業の実施目標の達成状況
- ・ 終了後を見据えて下半期に取り組む内容

etc

## 【提出いただくもの】

- ・ 進捗状況調査票
- ・ 帳簿（支出管理エクセル）
- ・ 進捗時点の契約書（写し）
- ・ 活動写真

		作成日: <input type="text"/>
<b>第6回未来応援ネットワーク事業〈事業A〉進捗状況調査票</b>		
団体名	<input type="text"/>	
担当者名	<input type="text"/>	連絡先 <input type="text"/>
当調査票の共同作成者	<input type="text"/>	
《必要に応じて、WAM事務局よりお問い合わせをいたします。》		
<b>1. 事業計画について（該当する項目にチェック（■）を入れてください）</b>		
<input type="checkbox"/> ①変更なし(当初計画(「支援金申請書兼請求書」)の記載内容、または、WAM事務局に報告した内容から変更はない)		
<input type="checkbox"/> ②変更あり(実施内容に変更が生じた、または、変更の予定)		
<input type="checkbox"/> ③事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている ※②及び③に該当する場合、具体的な内容をご記入ください。		
<input type="checkbox"/> ④支援事業において、当初の予定にはない他の補助金・助成金を受けている、または介護給付や自立支援給付等の対象となった(あるいは、支援期間中に受ける・対象になる予定)。 ※④に該当する場合、具体的な内容をご記入ください。		
<b>2. 事業実施体制について（該当する項目にチェック（■）を入れてください）</b>		
<input type="checkbox"/> ①変更なし(当初計画より団体内の事業実施体制(支援事業を担当する役員・スタッフ等)及び連携先に変更はない)		
<input type="checkbox"/> ②変更あり(当初計画より団体内の事業実施体制(支援事業を担当する役員・スタッフ等)及び連携先に変更が生じた、または変更の予定)		
※②に該当する場合、具体的な内容をご記入ください(支援事業への影響がある場合、今後の対応も含めてご記入ください)。		
<b>3. 団体のガバナンス体制について（該当する項目にチェック（■）を入れてください）</b>		
<input type="checkbox"/> ①支援事業の実施状況は、団体内で定期的に共有するとともに、代表者を含め、団体役員への報告を適宜している。 ※共有の回り方や団体役員への報告方法について具体的な内容をご記入ください。		
<input type="checkbox"/> ②利用者(支援対象者)の個人情報の取り扱いに、十分に配慮して事業を進めている。		

# P34～39 完了報告

完了報告は、支援金の精算と実績報告のための手続きです。

## 【提出時期】

事業完了から1か月以内又は 令和6年4月末日のいずれか早い日まで

## 【提出いただく主な書類】 ・ ・ ・ **手引きP34参照**

- ・ 事業完了報告書
- ・ 支出管理エクセル
- ・ 支援事業の支払いに係る領収書（写）と契約書（写）
- ・ 支援事業専用口座の通帳（写）
- ・ 事業実績及び自己評価書
- ・ 成果物等（報告書・チラシ等）

### 支援金の精算書類

### 実績・成果の報告書類

※報告書は対外的な成果普及や活動内容の共有を目的とした内容で構いません。

## 【返還が必要な場合】

精算手続きの結果、予算未消化がある場合はご返還いただきます。

**※返還金をなくす目的で無理に支援金を支出する必要はありません。**

(様式3-2) [メニュー画面へ](#)

内定通知書に記載された「受付番号」を記載してください。

令和 年 月 日

独立行政法人福祉医療機構 理事長 様

〒 〇〇〇-〇〇〇〇  
住 所 〇〇〇県〇〇市〇〇1-2-3  
名 称 特定非営利活動法人あいう会  
代 表 者 氏 名 理事長  
代 表 者 職 社 太郎

令和 年度 事業完了報告書

標記について次のとおり報告します。 **支援金出精算処理まで記載した支援事業名と前へ**をご確認ください。

1 事業名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 事業

2 精算額 千円

3 精算内訳書

経費科目 (A)	寄付金その他の収入 (B)	経費事業費 (A-B) (C)	当り事業費から「日本赤十字社」等へ寄付した額 (D)	赤字額 (E)	精算額 (D+Eを合計して「少ない方の額」) (F)	返還額 (G)
円	円	円	千円	千円	千円	千円

(添付書類)  
 (1) 精算額計算書  
 (2) 成果物  
 (3) その他参考となる書類

返付書の日付と通帳写数をご確認ください。

担当者	氏 名	TEL	F A X	連絡先
	医療 花子	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (平日9:30～17:00)		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
			チームアドレス	◎

# P40~41 団体情報の変更

「変更届」に内容が確認できる書類を添付して提出ください。

## 【変更内容の例】

- ・ 法人格・団体名・代表者
- ・ 団体住所・連絡先（メールアドレス）

※この他に法人印や定款、理事や監事の変更が生じた場合は、WAM担当者へご連絡ください。

※事業内容の変更の場合「変更届」の提出は必要ありませんが、まずはWAM担当者へご相談ください。

① 内容通知書に記載の受付番号を記載してください。 受付番号 ○○○○○○○○○ ○○年○○月○○日  
独立行政法人福祉医療機構 理事長 あて

② 添付後のものを記載してください。 住所 〒○○○-○○○ ○○県○○市○○○ ○-○-○  
名称 特定非営利活動法人 わむ会  
代表者 代表理事 福社太郎

③ 変更事項に○をつけてください 変更届

下記の事項について、変更が生じたのでお届けします。

変更年月日	○○年○○月○○日									
変更理由	○○○○○のため									
変更事項 (○を記入)	<input type="checkbox"/>	団体名称 (法人名称含む)	<input type="checkbox"/>	代表者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体住所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	連絡先 (メールアドレス)
変更前	団体名：(非営利任意団体) ふくし会 代表者名：代表理事 医療花子 団体住所：〒○○○-○○○ ○○県○○市○○○ ○-○-○ メールアドレス：○○○@○○○.fr.jp									
変更後	団体名：(特定非営利活動法人) わむ会 代表者名：代表理事 福社太郎 団体住所：〒○○○-○○○ ○○県○○市○○○ ○-○-○ メールアドレス：○○○@○○○.fr.jp									

※ 次の資料を必要に応じて添付してください。(メールアドレス)

④ 変更書類の添付してください。

記入例は、団体名、代表者、住所及びメールアドレスの全ての変更が生じた場合を例としてお示していますが、例えば住所のみ変更の場合、住所のみを記載し、団体名、代表者名及びメールアドレスの併記は不要です。

【法人の場合】

- 1 履歴事項全部証明書 (写)
- 2 定款・寄付行為 (写) (代表者変更の場合は不要)
- 3 役員名簿 (写) (法人格、代表者の変更の場合のみ)
- 4 代表者略歴 (任意様式。ただし、要領書「代表者略歴」(代表者変更の場合のみ)
- 5 法人の印鑑登録証明書 (写) (法人格、団体名の変更)

【任意団体の場合】

- 1 変更事項に関する役員会の議事録 (写)
- 2 団体規約 (写) (団体名変更の場合のみ)
- 3 役員名簿 (写) (代表者変更の場合のみ)
- 4 代表者略歴 (任意様式。ただし、要領書「代表者略歴」の内容をみたとこと) (代表者変更の場合のみ)
- 5 団体住所が確認できるもの (写) (団体住所変更の場合のみ)
- 6 代表者の印鑑登録証明書 (写) (代表者変更の場合のみ)

各種様式は「支援先団体専用HP」よりダウンロードしてください

# 子供の未来応援基金が 大切にしていること

---



こどもの未来は日本の未来

## ■ 計画性

採択された事業の目的を実現するための事業計画・資金計画が適正かつ合理的であること

## ■ 連 携

地域における多様な関係者を巻き込み、採択された事業の社会的意義を高めるとともに効果的に実施する工夫があること

## ■ 広 報

採択された事業の実施・効果に関する積極的な情報発信や広報の工夫を行うこと

## ■ 継続性

採択された事業の終了後の事業展開の見通しについて、今後の団体活動の発展が期待できる、一定の計画性があること

事業の実施中にはどう意識したらよいのでしょうか？

# 〈計画性〉 目標を具体化する

## ■ 成果目標「こうなったらいいな」と「現状」の間にある変化を段階的に把握

### 現状と課題

例)

- ・子どもの居場所が地域にない
- ・親の孤立状態
- ・学校の勉強についていけない

### 段階的な変化

例)

- ・居場所で大人と積極的に関わる
- ・親子食事会に誘い、雑談
- ・本人が得意・不得意を把握する

### 期待される効果

例)

- ・親以外に信頼できる大人とつながる
- ・気軽に相談できる場所(人)ができる
- ・勉強の習慣化、学力の向上

### 👉 目標設定及び実行上の注意点

目標は、支援対象者のニーズに基づき設定するようにしてください。

実行上の注意点としては、事業を実施していくなかで、当初想定していた目標や期待される成果とは異なる方向性が見えてくる場合があります。

その際は、支援の対象者一人ひとりにとっての安心安全を主眼に事業を推進し、その結果を共有いただくようお願いいたします。期中において、そうした状況が生じた場合は団体内で話し合いの上、必要に応じて要望書に記載した「事業内容」や「数値目標」の見直しについてご相談ください。



# 〈計画性〉 状況を把握する

- 団体内部や連携先とともに行う定期的な事業の点検（振り返り）や、成果(変化等)を把握する際には、活動時の記録が役立ちます。  
事業の内容にあわせて、「活動記録シート」を作成しましょう。  
記録する項目の検討にあたっては、簡単なフォーマットとし、記録を継続できる  
よう工夫することがポイントです。

## 「活動記録シート」の例

活動日	参加者名	活動中にどんな行動がみられたか	気になったこと	確認された 指標（※）	その他、スタッフ内で共有・確認 したいこと
4/18	Aさん	・自分から調理を手伝う 様子がみられた	・母親の帰りが遅 いと相談あり	②、③	・母親に必要な言葉か けや支援の紹介の仕方
	Bくん				
	Cさん				

### ※団体内で話し合っ て定めた指標

- ① スタッフやボランティア等、親以外の大人を頼れている
- ② 活動に対し意欲的である
- ③ 不安なことを相談することができる

# 〈計画性〉 成果把握・普及

手引き  
P24・25  
参考:P42,43

## ■ 期待される成果を確認する設問を

(例) 子どもの居場所 保護者への事後アンケート

目的 このアンケートは、当団体の今後の活動の参考とさせていただきます。ご協力をお願いします。

1. 回答者の方の属性について教えてください。

【性別】  男性  女性    【年代】  10~20代  30代  40代  50代~

2. 今回の事業の満足度について教えてください。(1つ選択)

とても満足  満足  やや不満足  不満足

上記回答を選んだ理由を教えてください。(自由記述)

3. 子どもの「家事を手伝う姿」はどのくらい変化がありましたか。

1 2 3 4 5      1 2 3 4 5

参加前      参加後

低い      高い      低い      高い

その変化について具体的なエピソードがあれば教えてください。

4. 親子カフェに参加後、子どもはどんなメニューを作れるようになりましたか。

回答例) たまごやき、カレー

5. より良い居場所になっていくために何が必要だと思いますか。

質問は以上です。ご協力ありがとうございます。

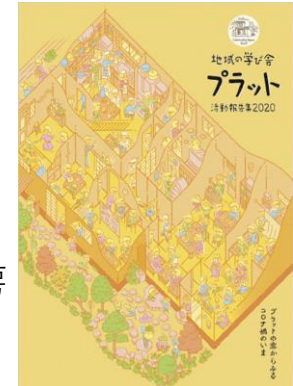
利用者満足度のポイント  
満足度の調査を行う場合にはその選択肢を選んだ理由を把握。

変化を測るポイント  
子どものありたい姿について聞いている質問で、その変化や、その具体的な内容について把握。

事業の改善のポイント  
事業をより良くしていくために必要な意見を収集することも大切。

## ■ 誰に向けて成果を伝えたいか

(報告書の例)  
WAM助成  
NPO法人 ダイバーシティ工房



## ■ 他地域での実践を後押しする成果発信

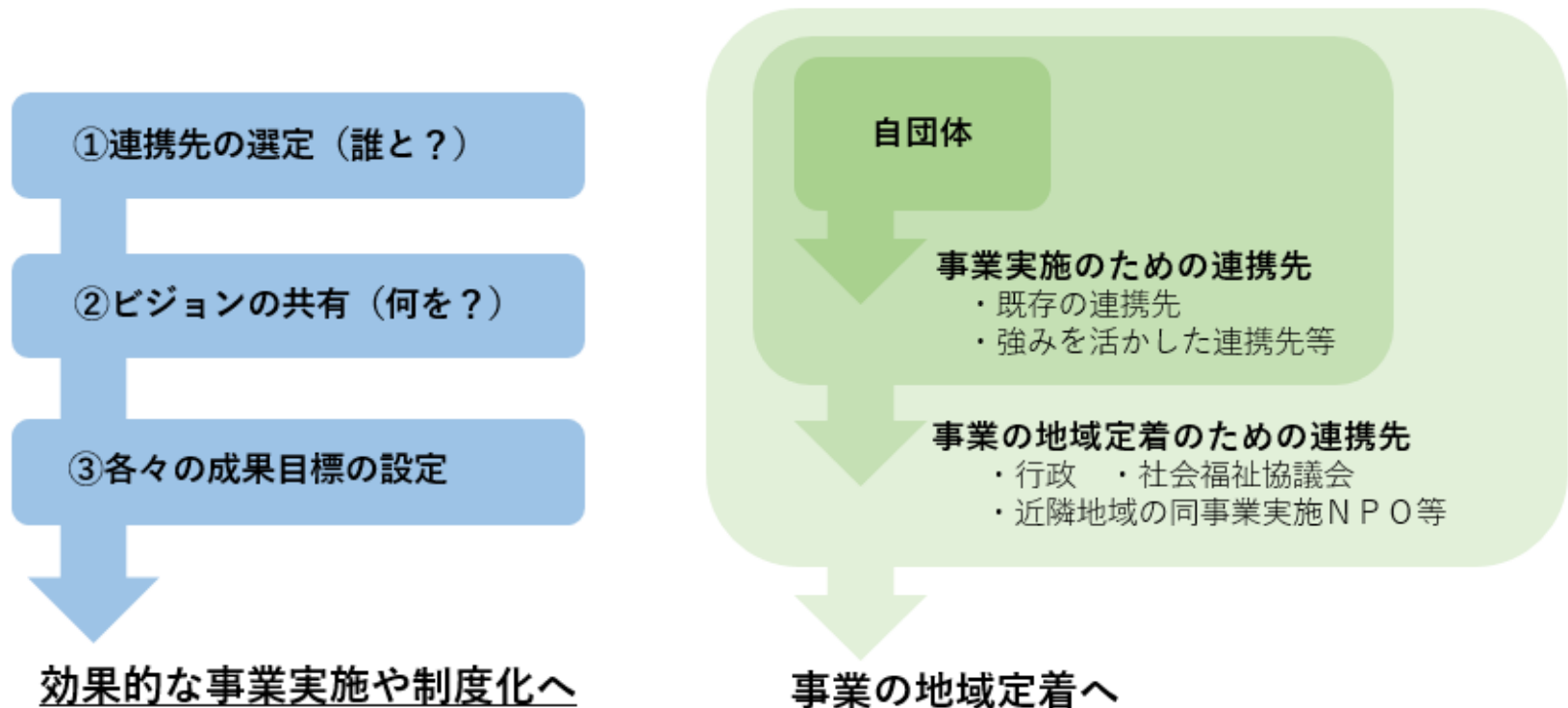


※WAM助成の成果物は電子図書館「e-ライブラリー」でどなたでも閲覧することができます

# 〈連携〉

## 事業の地域定着に向けた連携

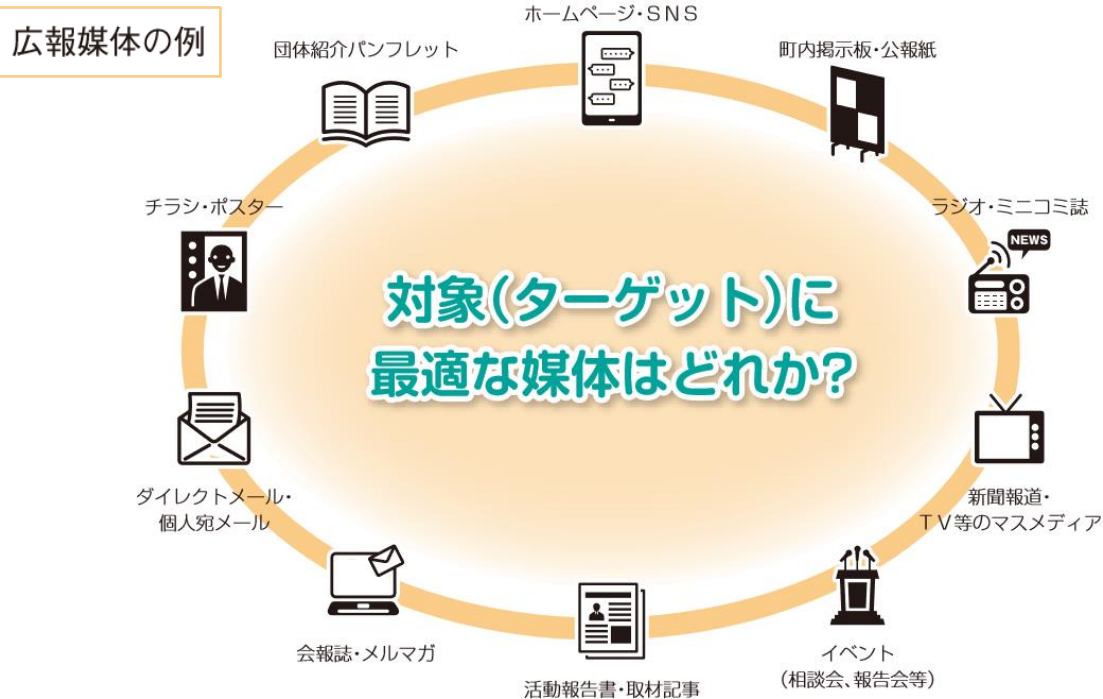
- 自団体と連携団体の「強み」を活かしあう形となっている
- 連携団体と「ビジョン」を共有する機会をつくる
- 自団体・連携団体各々が担う役割に目標を設定する



# 〈広報〉 情報発信と配慮

手引き  
P42～43

- 「誰に、何を、なぜ、どのようにして」伝えるか対象者の属性で分類し、適切な情報発信の内容や手段を選択
- 写真や氏名などの個人情報を掲載する際には、本人や保護者の同意を得たうえで、容易に個人が特定できないよう配慮が必要



# 〈広報〉 支援表示について

手引き  
P21～22

- 支援事業で作成する成果物には「団体名」と「支援表示」を必ず明記してください。支援の表示がみられない場合は、製作経費は支援対象経費から除外されますので、ご注意ください。

## ①文字で支援表示を行う場合

こどもの未来応援基金の支援を受け実施しています

## ②支援マークを含め表示を行う場合

- ホームページ掲示用・チラシ等印刷物用には以下のバナーを使ってください。

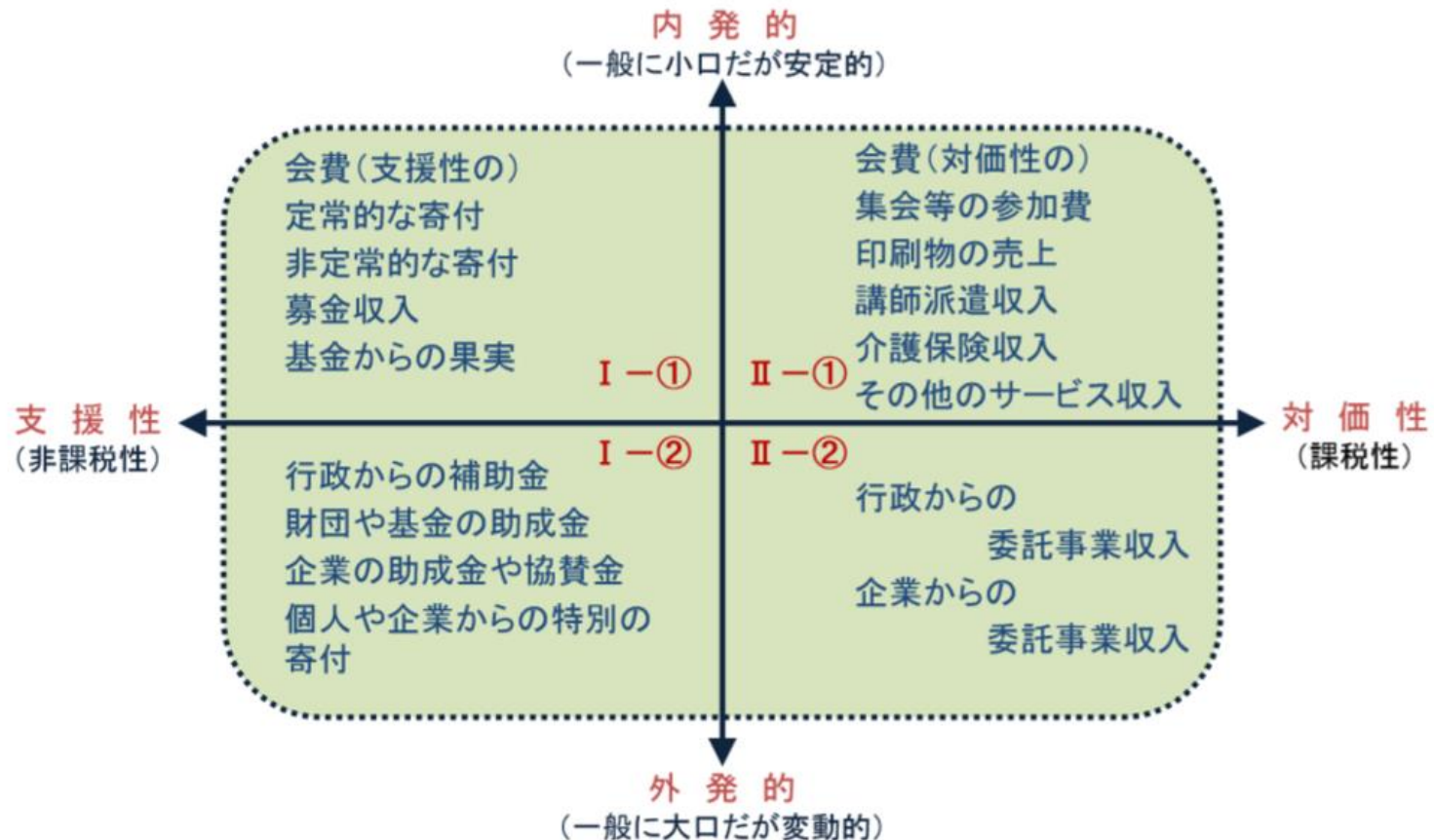


※ 以下のバナーは事務局までご一報の上、「illustration by toshiyuki hirata©2022」又は「©toshiyuki hirata」のクレジットと共にご使用ください。



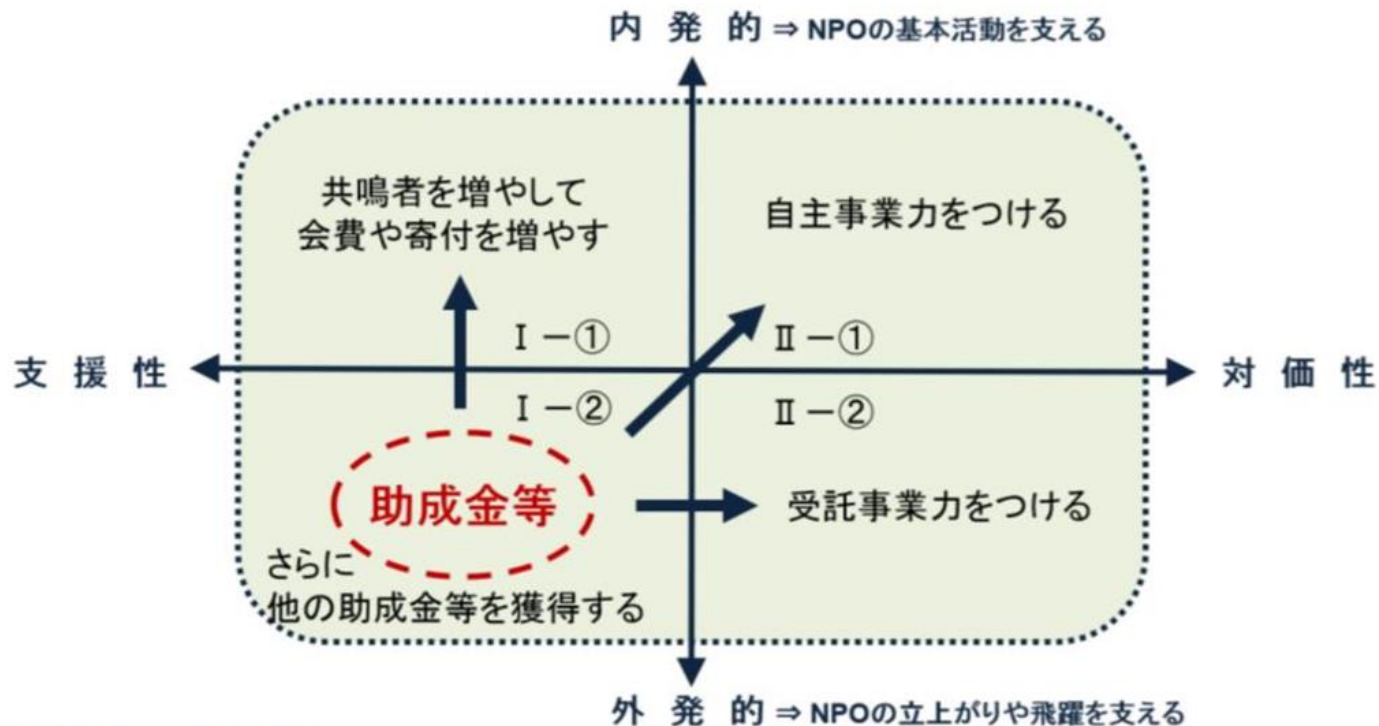
# 〈継続性〉 事業継続への備え①

## NPOを支える財源の構成 —財政面から組織基盤を考える—



# 〈継続性〉 事業継続への備え②

## 助成金を組織基盤の強化にどう活かすか？



・助成金はI-②の財源

⇒その財源で、どう効果的な活動を展開し、組織の基盤を固めるか

⇒その成果を、I-①、II-①、II-②の財源の拡充にどう活かすか

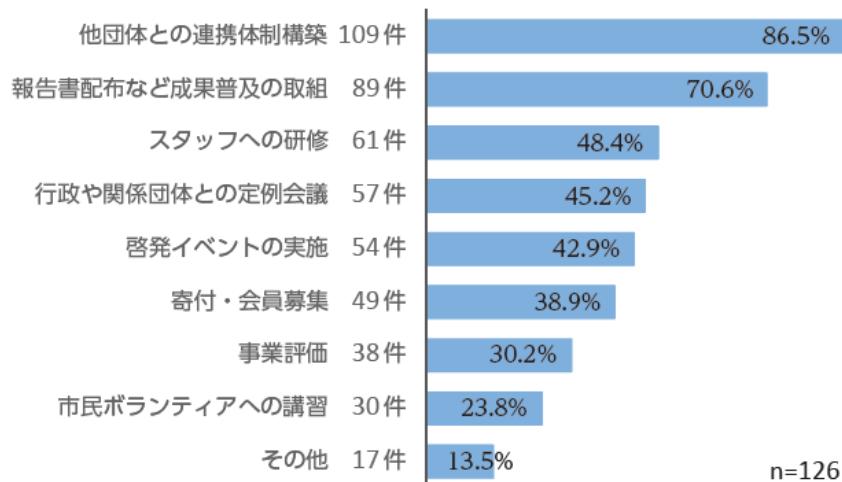
# 〈継続性〉

## 事業継続への備え③

- W A Mが実施している別の助成事業（W A M助成）の事業終了後 1年半経過後の調査では、さまざまな波及効果がみられます。
- 「他団体との新たなネットワークの構築」や「継続的な協力者の増加」にいかにつながるか、事業期間中から意識して取り組んでください。

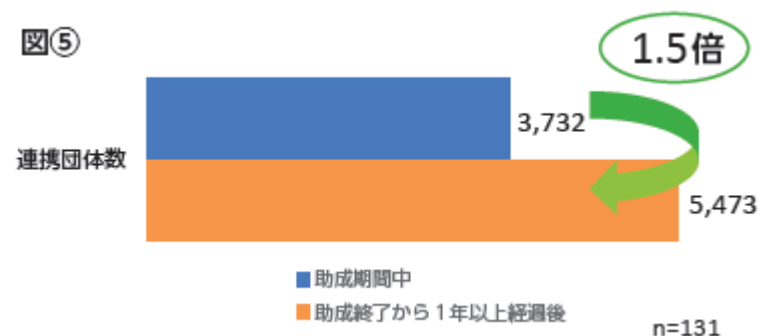
### 事業継続につながった取組（複数回答）

1年半経過後も事業を継続している団体のうち **86.5%**が、助成期間中の「他団体との連携構築」が現在の継続状況につながっていると回答しました。



### 連携団体数の変化と連携による効果

1年半経過後の団体に、助成期間中からの連携・ネットワーク団体数の変化について調査を行ったところ、平均**1.5倍**の拡大がみられました。



調査対象:令和2年度W A M助成事業実施団体137団体 総回答数:131団体  
回答率95.6%



# その他の留意事項 (ご一読ください)

手引き  
P20～25

## ■ 連携先への委託の取扱

(手引きP.20 5-(2))

- ・業務委託契約の締結が必要
- ・委託内容を整理した契約金額内訳書が必要

※委託の割合が総事業費の50%以上となった場合は、事業自体が支援対象外となりますのでご注意ください

## ■ 成果物への支援表示

(手引きP.21-22)

- ・「団体名」と「支援表示」を必ず明記
- ・成果物等は完了報告時に提出

## ■ 成果物発行時の注意点

(手引きP.23)

- ・発行者は「支援先団体」とする
- ・連携団体の名称のみの表示はNG
- ・作成・発行年月日は支援対象期間内の日付
- ・無料頒布が原則のため、価格表示は禁止

## ■ 利用者アンケート

(手引きP.24-25)

- ・研修会、講習会、シンポジウム、展覧会、スポーツ大会などを実施される場合において実施を依頼
- ・アンケートの実施が困難な場合は、実施前後の対象者の変化を文章でまとめる等により、成果を把握

# WAM連絡システムをご活用ください



- 団体担当者とWAM担当者が個別にやりとりができる掲示板です。
- 100MBまでのファイル送受信が可能です。活動写真やチラシ、報告書等、WAM担当者とぜひ共有してください。
- 『各団体お知らせコーナー』にて、支援先団体向けにイベント等の告知や情報交換をすることもできます。

支援金申請書兼請求書に登録するメールアドレスをご記入ください。  
登録手続きが完了しましたら、ユーザーID・パスワードを連絡いたします。

# 事務局による活動紹介の例



各地の支援団体

和歌山県 NPO法人 子どもの生活支援ネットワークこ・はうす 回探択]

取組事例の主な分野：虐待防止の提供・個別支援

ひとりひとりの子供が個人として尊重される社会をつくりたい

生活に困難を抱える地域の子供たちを対象に、安心して過ごせる居場所づくりを行っています。みんなで食卓を囲んでおり、遊んだり話したり、そんな当たり前の時間と人間関係が豊かな生活体験となり、元気な若者に育ってくれることを。また、それらの活動を通して貧困問題の解決を目指します。

### 子供の未来応援基金の支援による活動紹介

(1) 居場所事業：  
和歌山市内2か所の民家にて計8回、家庭的な食卓と安心できる居場所の提供を通して、日常生活を支える。学生ボランティアによる学習支援にも力を入れる。安心感や自己肯定感を育むことで、学習意欲を支える。

(2) 関係機関との連携：  
近隣小中学校のスクールソーシャルワーカー、ファミリーサポートセンター、市生活支援課、子ども総合支援センター、子ども食堂連絡協議会などと必要に応じて情報共有を行い、連携を深める。

(3) フォトリポート：  
おやつや食材も、ひとり親家庭などに定期的に届ける。近況を確認し、必要な支援制度や居場所の利用につなげる。

ご寄付をいただきました皆さまへ

子供の未来応援国民運動

## Monthly Report

<令和5年1月>

日頃より子供の未来応援基金に温かいご支援をいただきまして誠にありがとうございます。皆さまよりお預かりいたしましたご寄付につきまして、こどもたちの支援のために大切に活用させていただいております。Monthly Reportでは、ご寄付の活用状況などについてご報告してまいります。

### おさがり活用のリユース事業で、困窮家庭を支援する

<子供の未来応援基金支援団体 一般社団法人 あまりんぐ>

一般社団法人「あまりんぐ」(熊本県)は、活動本拠地である天草市の人口減少に課題意識を持ち、地域を活性化させたいという思いから、令和3年に設立しました。現在は、天草市内を中心に、子ども食堂事業、フードパントリー事業、地域交流事業、リユース事業など、幅広く支援活動を行っています。令和4年度子供の未来応援基金の支援事業では、生活困窮家庭を対象に、地域住民の寄付等で集まった育児用品、生活用品を配布するリユース事業を行っています。人目を気にせずサービスを利用できるよう、会員制の不用品紹介のショップサイトを立ち上げるという工夫を行い、無料で配布・配達を行っています。コロナ禍で活動が難しい状況においても、他のボランティア団体と連携してニーズ調査を行ったり、利用者紹介やボランティアの参加促進などに積極的に取り組み、事業のさらなる充実を図っています。

利用者からは「現地に行かずに、家事の合間にネットで衣類を見ることが出来、とても助かっています。」「衣類だけでなく、小物や絵本、文房具なども、たくさん掲載されているので、必要なものを選ぶことができます。」「という声が寄せられています。リユース品については買いたい希望だけでなく、地域住民からの提供希望も増加しており、支援の輪が広がっています。

今後は、団体が構築したリユース事業のノウハウを他の支援団体と共有し、より広く包括的な支援の普及を目指していきます。

会員制ショップサイト

### 小倉大臣より「子供の未来応援基金」感謝状の贈呈が行われました

令和3年度に「子供の未来応援基金」に多額の御寄付をいただいた企業や個人の方に対し、令和4年12月、小倉幹信内閣府特命担当大臣から感謝状が贈呈されました。贈呈式には8社1団体の方が出席し、各々の取り組みについてお話しいただき、小倉大臣から、各社・団体への御礼とともに、支援の輪を大きくすることが重要であり、より多くの企業から御支援いただけたらという努力がしたいと語りました。

\* 当日出席された企業・団体：  
(株)イーソーラー室 (株)NTTコム (株)カゴコン (株)すかいらーくホールディングス (株)東亜合成(株) 日本証券業協会 日本電信電話(株) (株)フォレスト・フュー、北海道銀行 (五十音順)

※ 写真が写り込んでいないご寄付はクレジットカード決済が対応していません。金額は子供の給付問題の解消のために活用させていただきます。

<お問い合わせ先>  
子供の未来応援国民運動推進事務局  
独立行政法人福祉医療機構 子供の未来応援基金  
〒593-8501 大阪府吹上区吹上1-1-1 TEL:03-3438-0231 FAX:03-3438-9949  
〒593-8501 大阪府吹上区吹上1-1-1 TEL:03-3438-0231 FAX:03-3438-0210

国民運動HPにて  
団体情報の掲載

寄付者への  
Monthly Report

子供の未来応援国民運動  
facebook

内閣府 文部科学省 厚生労働省 山形県

facebook

## すべての子供に、笑顔と夢を。

夢を、笑顔につなげたい。  
子供の未来応援国民運動

子供の未来応援国民運動  
フォロー19万人・フォロー中1人

自己紹介  
子供の未来応援国民運動の公式Facebookページです。

当機構においても、活動や事業の成果を積極的にPRします。

# 子供の未来応援基金 取組事例紹介

子供の未来応援基金の取組事例は、子供の未来応援国民運動HP ([https://www.kodomohinkon.go.jp/various\\_places/](https://www.kodomohinkon.go.jp/various_places/)) に掲載されます。



## 各地の支援団体

北海道・東北

関東甲信越

中部

近畿

中国・四国

九州・沖縄

### 支援団体トピックス

「子供の未来応援基金事業」に採択された実績のある支援団体をご紹介します。

#### 取組事例の主な分野

- 学びの支援
- 居場所の提供・相談支援
- 衣食住など生活の支援
- 就業またはその促進者の就労の支援
- 就業支援施設等の利用者等や家族・特別養子縁組に関する支援
- その他の支援

#### 北海道・東北

北海道(16)	+
青森県(5)	+
岩手県(6)	+
宮城県(24)	+
秋田県(4)	+



## 各地の支援団体

▲▲▲  
和歌山県

● NPO法人 子どもの生活支援ネットワークこ・はうす [第6回採択]

取組事例の主な分野：居場所の提供・相談支援

| **ひとりひとりの子供が個人として尊重される社会をつくりたい**

生活に困難を抱える地域の子供たちを対象に、安心して過ごせる居場所づくりを行っています。みんなで食卓を囲んでおしゃべりしたり、遊んだり雑談したり、そんな当たり前の時間と人間関係が豊かな生活体験となって、元気な若者に育ってくれることを願っています。また、それらの活動を通して貧困問題の解決を目指します。

#### 子供の未来応援基金の支援による活動紹介

(1) 居場所事業：  
和歌山市内2カ所の民家にて計8回、家庭的な夕食と安心できる居場所の提供を通して、日常生活を支援する。学生ボランティアによる学習支援にも力を入れる。安心感や自己肯定感を育むことで、学習意欲を支える。

(2) 関係機関との連携：  
近隣小中学校のスクールソーシャルワーカー、ファミリーサポートセンター、市生活支援課、子ども総合支援センター、子ども食堂連絡協議会などと必要に応じて情報共有を行い、連携を深める。



食後はよくカードゲームやボードゲームをしています。今どきの子供たちもアナログのゲームで楽しそうに遊んでいます。

掲載内容の作成にご協力をお願いします。（作業依頼：4月予定）

20

# WAM担当者よりひと言

## ■ 基金の特徴を活かして


本基金は、内閣府、文部科学省、厚生労働省とWAMが運営しており、「自治体等の行政との連携」を促進する効果が期待されています。そうした基金の特徴を活かして事業を実施してください。

## ■ 他団体とのネットワークを

令和5年度も本基金により、全国各地で子供を取り巻く課題に対応する民間福祉活動が取り組まれます。採択された146の団体の皆さま同士がこれを一つの契機として、情報交換など、双方向の連携が進むことを願っています。

## ■ WAM担当者にご相談ください

団体ごとにWAMの担当者がついています。事業や資金の計画変更の相談や手続き等の他、事業の方向性の検討などお気軽にご連絡ください。悩みも言葉にすると整理できることがあるかもしれません。



支援団体向け  
研修会等も  
開催予定

# WAMリソースをご活用ください

## ■ 過去の優良事例を掲載



**WAM助成レポート**  
(優良事例先訪問レポート)



**事業評価報告書(令和4年1月)**  
(WAM助成の評価)



**電子図書館 (e-ライブラリー)**  
(過去の事例概要・報告書)



■ 事業計画立案時のヒントを掲載



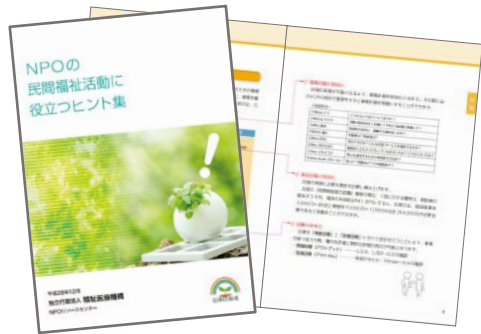
WAM助成シンポジウム  
(2022) 開催報告  
(多様な機関との連携)



オンライン学習会  
(2022) 開催報告  
(事業継続)



■ 事業継続・資金調達・連携・評価のヒントを掲載



NPOの民間福祉活動  
に役立つヒント集  
(事業運営のヒント)



資金調達セミナー  
(2017) 開催報告  
(助成金について)



その他、  
過去のWAM主催イベント  
の開催報告はこちら↓



団体立ち上げ間もない場合、初めて助成金を活用する場合 など …

**ご不明な点がございましたら、  
どうぞお気軽にご相談ください。**



こどもの未来は日本の未来

事務の手引き(PDF版)や申請様式などは以下のページからダウンロードできます。

[https://www.wam.go.jp/hp/kodomomiraikikin\\_r5\\_dantai/](https://www.wam.go.jp/hp/kodomomiraikikin_r5_dantai/)

## 独立行政法人福祉医療機構 NPOリソースセンター

〒105-8486

東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル9階

NPO支援課 : 03-3438-4756

FAX(共通) : 03-3438-0218

NPO振興課 : 03-3438-9942

月曜～金曜 AM9:00～PM5:00 (祝祭日を除きます)